

最期の看取りまで自宅でくらしたいが…不安

在宅での医療介護は

自宅で亡くなる人は10人に1人

高齢者のみ世帯や核家族の増加、医療の発達など時代の変化とともにほとんどの高齢者が病院で亡くなるようになりました。小郡市でも、自宅で最期を迎える人はおよそ10人に1人です。それでも、ほとんどが余生はできるだけ自宅で生活したいと希望しています。たとえ介護が必要になっても自宅で安心してくらし続けるためには、本人や家族を支える体制の整備が必要で

ほとんどが病院で亡くなる

小郡市の65歳以上の高齢者は年々増加し、医療介護を必要とする市民も増え続けています。介護サービスを受けている人は2028人で、そのうちの68%にあたる1380人は自宅生活を送っています。調査では、高齢者の多くが介護が必要になってからも自宅での生活を希望しています。これを支える在宅医療介護の現状と課題について質問しました。

医療や介護を受けながら自宅で生活するにはどうす



まずは、ケアプランから

す。これを包括ケアシステムと呼んでいます。

家族の負担を減らし安心して在宅医療介護を続ける

医師と介護士など関係者の協力が重要

末期がん患者などは医師や看護師の定期的な訪問診療・看護が必要です。小郡市では、11診療所が対応していて、そのうち6診療所は在宅看取りまで行っています。また、訪問看護ステーションは8あり、そのうち24時間体制は7、末期がん対応は4となっています。

小郡市の支える体制

ればよいのでしょうか。まず、市に要介護申請すると介護度が認定され、それに基づきケアプランが作られます。在宅サービスには、訪問介護、訪問リハビリ、訪問診療、訪問看護、住宅改修や介護用品貸与などがあります。また、緊急入院先を決めておくなどケアマネージャーが本人や家族と相談しながらケアプランを作ります。

課題です。

かつて、日本人のほとんどが人生の最期を自宅で迎えて、死は誰にとっても避けがたい身近なものでした。市では、今、延命治療などをあらかじめ家族と話し合い決めておくアドバンスケアプランニングに取り組んでいます。お隣の大刀洗町では全行政区で講座が開催されていますが、小郡市ではまだ進んでおらず今後の課題です。

人生の最期をどうに受け入れるか

ためには、様々な人がチームとして連携協力する必要があります。そのつなぎ役がケアマネージャーです。今回、質問準備の聞き取りで、関係者が医療と介護の壁を超えて力を合わせようと絶え間ない努力を続けておられることを知り感銘を受けました。ただ、人材の不足や待遇面での改善は大きな課題です。

つなぐ

小郡市議会議員 しんばる善信後援会だより

発行
しんばる善信後援会
小郡市小郡1304-2
0942-73-2123



市役所市民課窓口を民間会社に委託

目的はサービス向上と職員の業務改善

情報保護と職員間の連携はどうなる？

小郡市役所1階にある市民課窓口は、昨年12月から民間会社に委託しています。戸籍抄本や住民票など証明書の発行、印鑑登録、住民異動など市民が最も利用するところですが、3か月余り過ぎて、どのような変化が起きているか質問しました。



待ち時間が短縮された

窓口の前にフロアマネジャーという案内係がいて利用者の申請を手伝うのでわかりやすくなりスピーディに手続きが済むようになったと好評です。利用者アンケートでは約8割が満足と評価しています。

業務改善はこれから

これまでは、窓口での受付から証明書の交付まで市の職員がやっていました。これからは、いわば手順通りの業務は民間に委託し、DV被害者、外国人対応や市民相談、企画立案など職員でなければできない業務に注力することが期待されます。しかし、まだ日が浅く効果が見えてくるのはもう少し先のようなです。

個人情報の保護は大丈夫か

民間会社の職員に住民票等を扱わせて個人情報情報が漏れないかと心配する声があります。これに対し、市は、契約時に執務場所への職員のスマートフォンやUSBなどの持込みを禁止し、従事者への指導教育を行って

いると答えました。

目指すのはワンストップ

現在、転居手続きではないくつもの窓口に行く必要があります。これを1か所ですべて終わるワンストップ窓口にするのが最終的に目指す姿です。今回の民間委託はその第一歩ということ

民間の請負契約は、指揮命令できない

今回の民間会社への委託は、一括請負契約なので市の職員が直接民間会社の従事者に指示命令することはできません。職場のエリアも決まっています。何か問題が起これば、週1回の連絡会で従事者個人ではなく民間会社の責任者に調整・依頼を行っていて、今のところ支障はないようです。

LINEで事前入力

民間委託のほかに、手続

きの利便性向上の一つとして住所変更の際、自宅等で事前にLINEで必要事項を入力すれば簡単に手続きができるようになっていきます。また、マイナンバーカードがあればコンビニで住民票の写し・印鑑登録証明書などを受け取ることができます。さらに、市のホームページ上で窓口の混雑状況を確認することもできます。

行かない、書かない、待たない、迷わない

今回の民間委託は、国が推し進める自治体の窓口改革のひとつです。これまでの対面の窓口からオンラインでの手続きなど業務の効率化を目標としています。このことで便利になる反面、スマホ等が苦手な人にはかえってやりづらくなりかねません。すべての市民が取り残されないような配慮も忘れてはなりません。



福島第一原発を視察してきました 福島原発事故は終わっていない！

実際に行って見なければわからないこと

原発事故から13年 収束の見通し立たず

事故収束には原子炉の中に溶け落ちた燃料デブリを一刻も早く取り出すことです。しかし、未だ1グラムも出せていません。そのせいで汚染水が毎日大量に発生しているのです。昨年ついに海洋放出する事態となりました。

それでも原発作るのですか

1月の能登半島地震では、志賀原発がトラブルを起こしました。予想できない地震が相次ぐ日本列島で原発がどれだけ危険なものか、多くの国民が不安に思うのは当たり前です。しかし政府は強引に原発の再稼働と老朽化した原発の延命、さらに新設政策を進めています。原発推進には企業、自治体に大きなお金が動きまわります。一度始めたらやめることができなくなるというのが現実です。



5兆円かけて福島県全域の汚染土が全部ここに

国は、事故を起こした第1原発を取り囲む約1600ヘクタールの広大な土地（小郡市の約3分の1）を立入禁止の「中間貯蔵施設」とし、福島県全域から集めた放射能汚染土、がれき、植物など1m³入フレコン袋約1362万袋をうず高く積み上げています。このために使われた国費はすでに5兆円を超えていると言います。しかも、地元自治体である大熊町、双葉町との約束では、ここはあくまで



中間貯蔵であって2045年3月までに福島県外で最終処分することになっています。8年が経過していますが、全国のどこの自治体からも受け入れの意思表示はあっていません。地元では、このまま、ずるずるとここに放置されるのではないかとという不信が募っています。

豪雨対策 学校のグラウンドに雨水をためる

小郡中運動場、七夕運動広場に壁を作る

市は、毎年相次ぐ豪雨被害を防ぐため、今年度小郡中学校運動場と大崎の七夕運動広場の周囲に壁を築き短期間水をためておく工事を行います。それぞれ最大3000m³（25mプール約

6杯分）ためておくことができます。雨がたまったら時点でゆつくり流します。運動場は使えなくなかないか

心配なのは、水が引いた後、運動場が荒れてしまわないかということです。全国ではいくつも先行事例があり、問題なく使えているそうです。

小郡小、大原中運動場にも設置計画

今後、同じような（オンサイト）貯留施設を小郡小、大原中にも設置するため調査する計画です。

この1さつ



ぼくはイエローでホワイトで、
ちょっとブルー
ブレイデイミカこ 著



ガザ地区における即時停戦と人道支援を求める意見書

全会一致で採択し政府に送付

しんばる議員の提案理由

ユニセフによれば、「ガザは子どもたちの墓場となつて、人々の生き地獄となっている」といいます。今回のガザ危機の直接の契機は、10月7日のハマスによる攻撃でした。その背景には、1967年以来イスラエルがヨルダン川西岸とガザ地区を占領下におき、住民の強制排除を行いながら入植を拡大してきたこと、2007年からはガザ地区封鎖政策をとり、「天井のない監獄」と呼ばれる非人道的状況をつくりだしてきたことも考慮されなければなりません。

著者は、イギリス在住の保育士。アイルランド人パートナーとの間に息子が一人。息子はカトリック系の有名小学校卒業後、自ら選んで労働者や移民の多い元最底辺中学校に入学する。そこには、貧困や人種差別やい

じめなどイギリスが抱える様々な問題が渦巻いている。いろんな境遇の人たちとかわりながら息子は多様性を知り、たくましく成長していく。いろいろあつて当たり前、相手を知ることが大事だと学ぶ。著者は、母

目的の即時停戦を求める決議を日本を含む153か国の賛成で採択しました。また、1月27日、国際司法裁判所は、イスラエルに対して、ガザ地区の住民の大量虐殺などを防ぐため手段を尽くすことやガザ地区に確実に人道支援が届くようにすることなどを暫定的な措置として命じました。

親として息子にアドバイスしながらも共に学び成長していく姿を生き生きと描いている。東洋人のイエロー、白人のホワイト、ちよつと「悲しい」のブルー。いっぱい考えさせられ、そして励まされる。

議会で話

たかが5分、
されど5分

これまで一般質問の持ち時間は35分と決められていました。ところが、最近、議長を除く17名全員が質問することもあつて予備日を含む三日間で収まらなくなりました。そこで、一人当たりの持ち時間を5分短縮して30分にしようということになりました。そうなるとう、質問のどこを削るか知恵を絞らなければなりません。言いたいことは山ほどあるけれど一番言いたいことは何か考えました。それでも実際には、時間になせかされ予定した質問のいくつかは飛ばさざるを得ませんでした。しかし、これはこれで質問の中身が焦点化され、よかつた面もあります。終わってみれば28分でした。

(よし)